

補助対象となるエレベーターの防災対策(概要図)

① 地震時管制運転装置の設置

初期の微振動(P波)を感知して、本震(S波)が到達する前にかごを最寄り階に自動着床させる装置。

② 主要機器の耐震補強措置

地震時にロープが揺れ、昇降路内の突出物へ絡まることや、駆動装置等の転倒を防ぐ措置。

③ 戸開走行保護装置の設置

駆動装置やブレーキに故障が生じ、エレベーターの乗場の戸が開まる前にかごが昇降することを防ぐ装置。

④ 釣合おもりの脱落防止措置

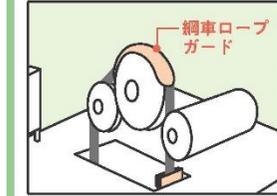
釣合おもりがおもり枠から外れ、落下することを防ぐ措置。

⑤ 主要な支持部分の耐震化

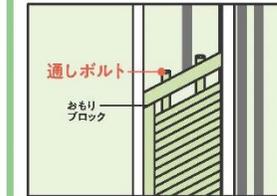
「主要な支持部分」である主ロープやガイドレール等について、構造耐力上の安全性を確保したものにす。

【防災対策改修の例】

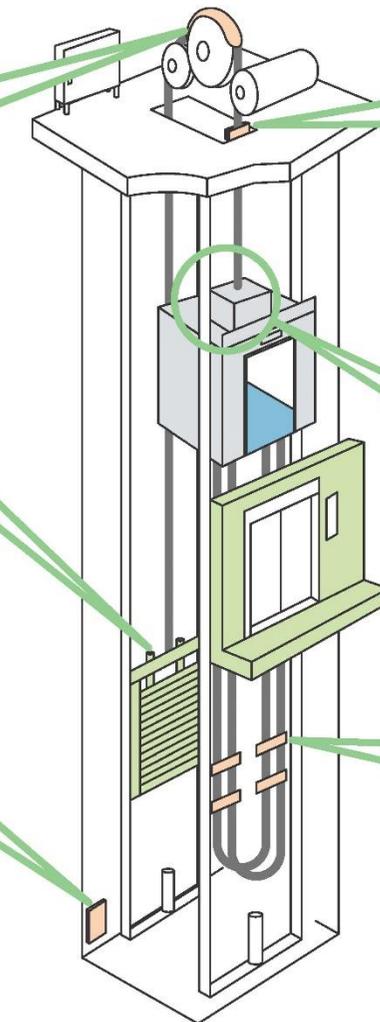
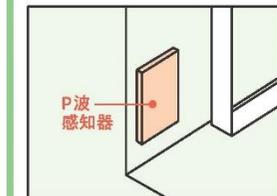
② 巻上機の綱車からのロープはずれ防止



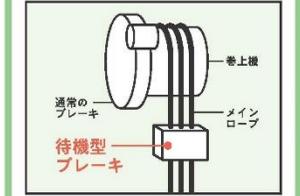
④ 釣合おもりの脱落防止措置



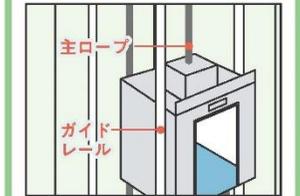
① 地震時管制運転装置の設置



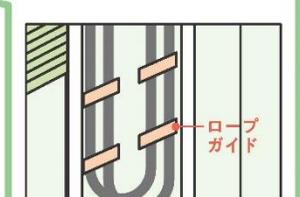
③ 戸開走行保護装置の設置



⑤ 主要な支持部分の耐震化



② ロープの絡まり防止



機械室ありエレベーターの例

⑥ リスタート運転機能のイメージ



地震時管制運転により最寄り階へ着床する前に何らかの要因で安全装置が作動し、エレベーターが停止しても、その後、安全装置が正規の状態に復帰したことが確認できた場合には、かごを最寄り階に着床させて戸を開くことにより、閉じ込めを解消する機能

⑦ 自動診断・仮復旧運転機能のイメージ



地震時管制運転により、かごを最寄り階に着床させ、運転を停止した後にエレベーター機器の破損等の危険性を機械的に診断し、仮復旧させる機能